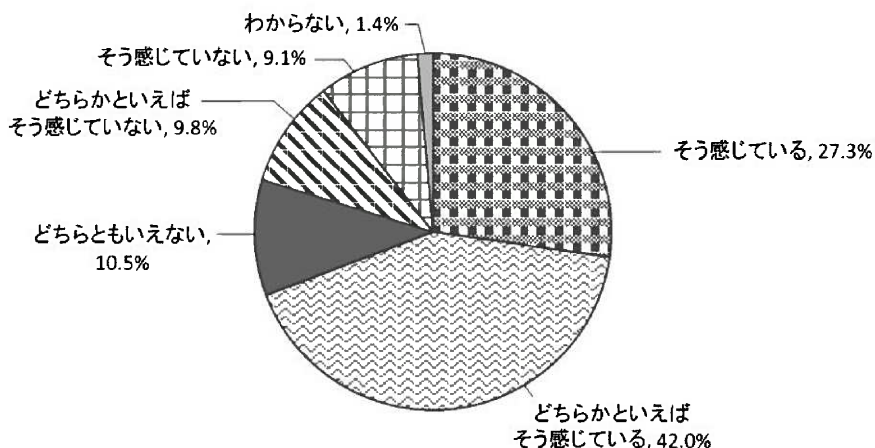


問25-2 あなたは、北九州市内の電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利であると感じますか。



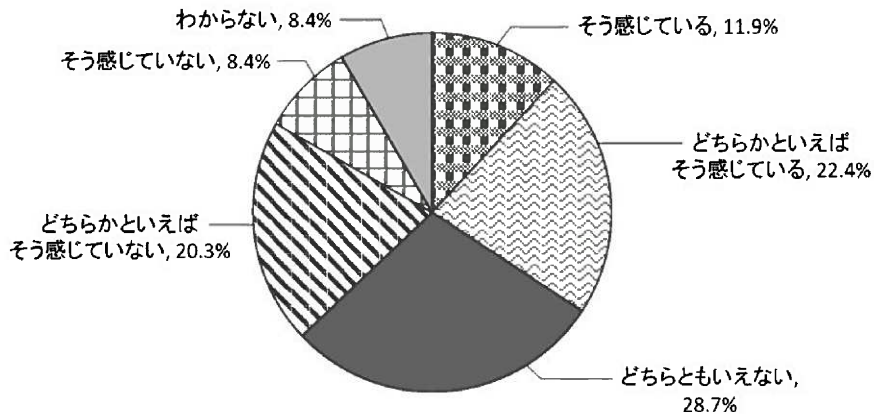
		サンプル数	そう感じている	どちらかといえばそう感じている	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じていない	そう感じていない	わからない	無回答
全体		143	27.3%	42.0%	10.5%	9.8%	9.1%	1.4%	0.0%
性別	男性	66	25.8%	53.0%	6.1%	7.6%	7.6%	0.0%	0.0%
	女性	77	28.6%	32.5%	14.3%	11.7%	10.4%	2.6%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	31.6%	21.1%	15.8%	5.3%	26.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	18	44.4%	33.3%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	21.7%	52.2%	4.3%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%
	50歳代	22	18.2%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
	60歳代	22	27.3%	45.5%	4.5%	9.1%	9.1%	4.5%	0.0%
	70歳以上	38	26.3%	55.3%	13.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15	26.7%	33.3%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26	23.1%	57.7%	11.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30	43.3%	26.7%	0.0%	16.7%	10.0%	3.3%	0.0%
	若松区	14	0.0%	35.7%	21.4%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%
	八幡東区	11	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	36	25.0%	41.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	戸畑区	11	45.5%	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%

電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利であると感じるかについては、「そう感じている」(27.3%)と「どちらかといえばそう感じている」(42.0%)をあわせた69.3%が肯定的な回答、「どちらかといえばそう感じていない」(9.8%)と「そう感じていない」(9.1%)をあわせた18.9%が否定的な回答であり、肯定的な回答が否定的な回答を50.4%上回った。

【市民の環境活動について】

問26 北九州市では、「世界の環境首都」を都市のブランドの一つに掲げ、国に認定された環境モデル都市として、低炭素社会実現をリードする取組を市民、NPO、企業などと一体となって進めています。そこで、おたずねします。

問26-1 市民、NPO、企業、行政などの多様な主体が、日ごろの生活や事業活動の中で、温室効果ガス（CO₂など）の削減を意識した取組を進めていると感じますか。



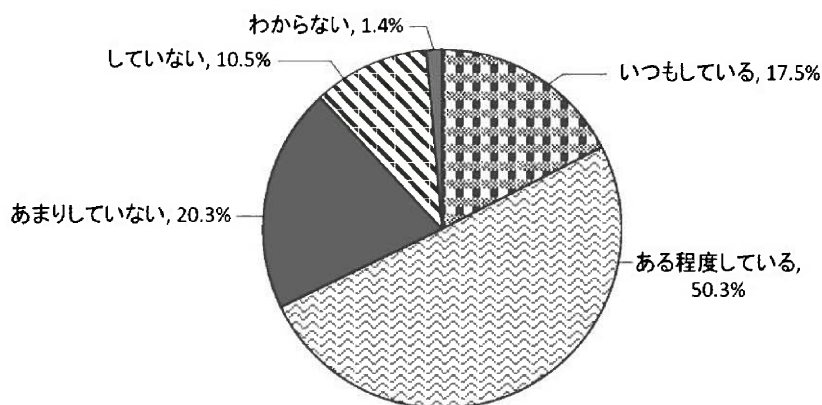
	サンプル数	そう感じている	どちらかといえ そう感じている	どちらともい えない	ど ち ら か と い え ば そ う 感 じ て い な い	そ う 感 じ て い な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	143	11.9%	22.4%	28.7%	20.3%	8.4%	8.4%	0.0%	
性別	男性	66	16.7%	27.3%	21.2%	21.2%	9.1%	4.5%	0.0%
	女性	77	7.8%	18.2%	35.1%	19.5%	7.8%	11.7%	0.0%
年齢別	10歳代	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	15.8%	0.0%	21.1%	31.6%	15.8%	15.8%	0.0%
	30歳代	18	5.6%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	16.7%	0.0%
	40歳代	23	8.7%	13.0%	26.1%	34.8%	13.0%	4.3%	0.0%
	50歳代	22	18.2%	31.8%	31.8%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%
	60歳代	22	9.1%	31.8%	31.8%	4.5%	9.1%	13.6%	0.0%
	70歳以上	38	10.5%	34.2%	34.2%	15.8%	2.6%	2.6%	0.0%
区別	門司区	15	13.3%	13.3%	46.7%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
	小倉北区	26	11.5%	26.9%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%
	小倉南区	30	13.3%	20.0%	23.3%	23.3%	6.7%	13.3%	0.0%
	若松区	14	7.1%	35.7%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11	9.1%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%
	八幡西区	36	8.3%	19.4%	36.1%	19.4%	8.3%	8.3%	0.0%
	戸畑区	11	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%

市民、NPO、企業、行政などの多様な主体が、日ごろの生活や事業活動の中で、温室効果ガス（CO₂など）の削減を意識した取組を進めていると感じるかについては、「どちらかといえばそう感じている」（22.4%）と「そう感じている」（11.9%）をあわせると、34.3%の人が肯定的な回答であり、否定的な回答（28.7%）を上回った。

【低炭素社会づくりについて】

問27 北九州市では、国の環境モデル都市として低炭素社会を実現するための取組を積極的に行っています。そこで、おたずねします。

問27-1 あなたは、日常生活の中で、省エネやエコドライブなど、温室効果ガス（CO₂など）の排出を抑制する取組を行っていますか。



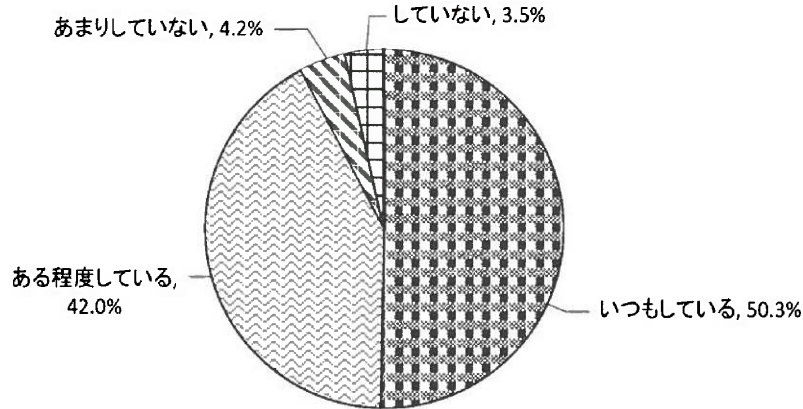
		サンプル数	いつもしている	ある程度している	あまりしていない	していない	わからない	無回答
全体		143	17.5%	50.3%	20.3%	10.5%	1.4%	0.0%
性別	男性	66	18.2%	47.0%	21.2%	13.6%	0.0%	0.0%
	女性	77	16.9%	53.2%	19.5%	7.8%	2.6%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	10.5%	31.6%	42.1%	15.8%	0.0%	0.0%
	30歳代	18	5.6%	44.4%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	8.7%	60.9%	17.4%	13.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	22	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	22	13.6%	50.0%	13.6%	13.6%	9.1%	0.0%
	70歳以上	38	28.9%	52.6%	15.8%	2.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15	6.7%	53.3%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%
	小倉北区	26	15.4%	46.2%	23.1%	11.5%	3.8%	0.0%
	小倉南区	30	13.3%	66.7%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	若松区	14	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	36	25.0%	41.7%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%
	戸畑区	11	27.3%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%

日常生活の中で、省エネやエコドライブなど、温室効果ガス（CO₂など）の排出を抑制する取組を行っているかについては、「ある程度している」（50.3%）が最も多く、「いつもしている」（17.5%）をあわせた67.8%が「している」との回答であった。

【廃棄物対策の推進について】

問28 北九州市では、ごみを減らす取組として、市民・事業者等による3R活動（リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化））などを推進し、持続可能な循環型社会づくりに取り組んでいます。そこで、おたずねします。

問28-1 あなたは、日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っていますか。



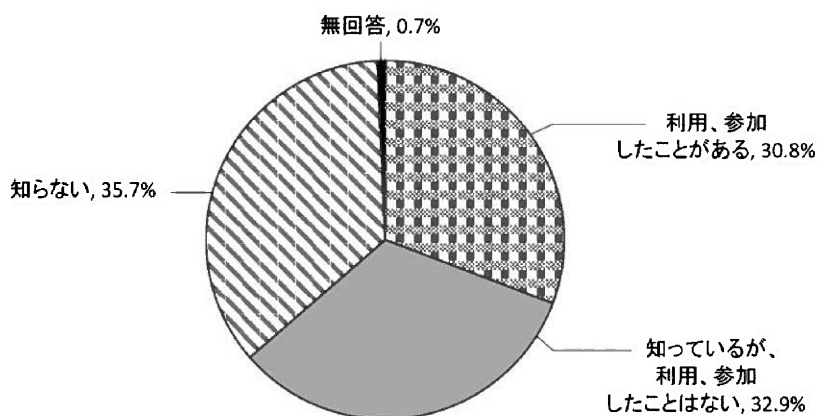
		サンプル数	いつもしている	ある程度している	あまりしていない	していない	わからない	無回答
全体		143	50.3%	42.0%	4.2%	3.5%	0.0%	0.0%
性別	男性	66	54.5%	33.3%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%
	女性	77	46.8%	49.4%	2.6%	1.3%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	31.6%	52.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	18	55.6%	27.8%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	39.1%	52.2%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%
	50歳代	22	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	22	54.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	70歳以上	38	55.3%	44.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15	46.7%	33.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26	57.7%	30.8%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30	56.7%	40.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	若松区	14	50.0%	42.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	36	50.0%	41.7%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%
	戸畑区	11	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っているかについては、「いつもしている」（50.3%）と「ある程度している」（42.0%）をあわせた92.3%が「している」との回答であった。

【環境教育や環境学習について】

問29 北九州市では、『世界の環境首都』を目指す取組の一つとして、学校や家庭、地域など、さまざまな機会・場での環境教育や環境学習の充実に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

問29-1 あなたは、環境ミュージアム、エコタウンセンターなどの環境学習施設の利用や、毎年10月に行われるエコライフステージなどの環境イベントに参加したことがありますか。



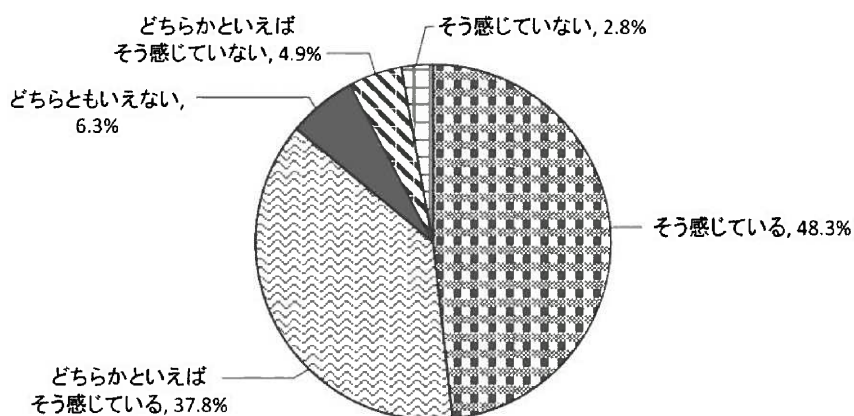
		サンプル数	利用、参加したことがある	知っているが、利用、参加したことはない	知らない	無回答
全体		143	30.8%	32.9%	35.7%	0.7%
性別	男性	66	33.3%	36.4%	28.8%	1.5%
	女性	77	28.6%	29.9%	41.6%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	21.1%	15.8%	63.2%	0.0%
	30歳代	18	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%
	40歳代	23	21.7%	26.1%	52.2%	0.0%
	50歳代	22	31.8%	27.3%	36.4%	4.5%
	60歳代	22	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%
	70歳以上	38	42.1%	39.5%	18.4%	0.0%
区別	門司区	15	33.3%	20.0%	46.7%	0.0%
	小倉北区	26	38.5%	23.1%	38.5%	0.0%
	小倉南区	30	20.0%	33.3%	46.7%	0.0%
	若松区	14	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%
	八幡東区	11	45.5%	36.4%	18.2%	0.0%
	八幡西区	36	27.8%	36.1%	36.1%	0.0%
	戸畑区	11	27.3%	36.4%	27.3%	9.1%

環境学習施設の利用者や環境イベント参加者を含めて、6割以上（63.7%）の人が環境イベントを認知していたが、「利用、参加したことがある」という回答は30.8%に留まっている。

【自然環境について】

問30 北九州市は、大都市でありながら山や海など、多様な自然環境に恵まれており、市ではその適正な保全に努めるとともに市民が自然と触れ合うことができる場を整備しています。そこで、おたずねします。

問30-1 あなたは、北九州市は、身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じますか。



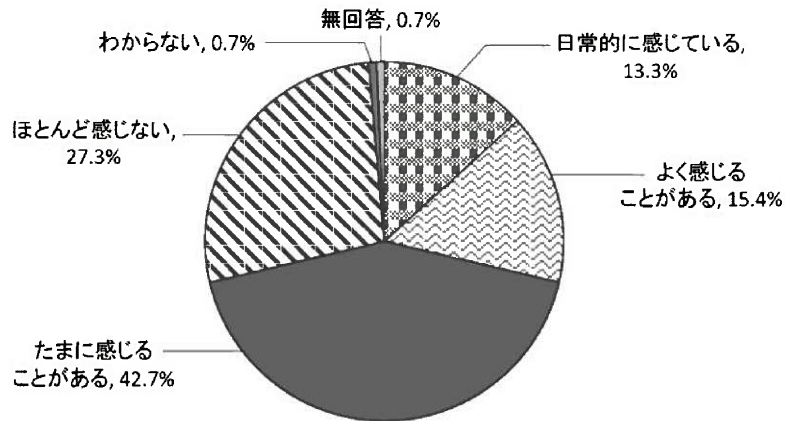
	サンプル数	そう感じている	どちらかといえばそう感じている	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じていない	そう感じていない	わからない	無回答	
全体	143	48.3%	37.8%	6.3%	4.9%	2.8%	0.0%	0.0%	
性別	男性	66	50.0%	30.3%	10.6%	3.0%	6.1%	0.0%	0.0%
	女性	77	46.8%	44.2%	2.6%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	47.4%	42.1%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	18	38.9%	50.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	34.8%	56.5%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	22	59.1%	27.3%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%
	60歳代	22	54.5%	22.7%	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
	70歳以上	38	52.6%	34.2%	10.5%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15	40.0%	40.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26	53.8%	23.1%	11.5%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30	43.3%	50.0%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	若松区	14	42.9%	42.9%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11	54.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	36	47.2%	41.7%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
	戸畑区	11	63.6%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%

身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じるかについては、「そう感じている」(48.3%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう感じている」(37.8%)となっており、8割以上(86.1%)の人が肯定的な回答であった。

【身近な生活環境の保全について】

問3 1 北九州市では、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などに対し、法律に基づいた取組を徹底するとともに、自動車からの排気ガスや騒音問題の改善に向けた対策を進めています。そこで、おたずねします。

問3 1-1 あなたは、日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じることはありますか。



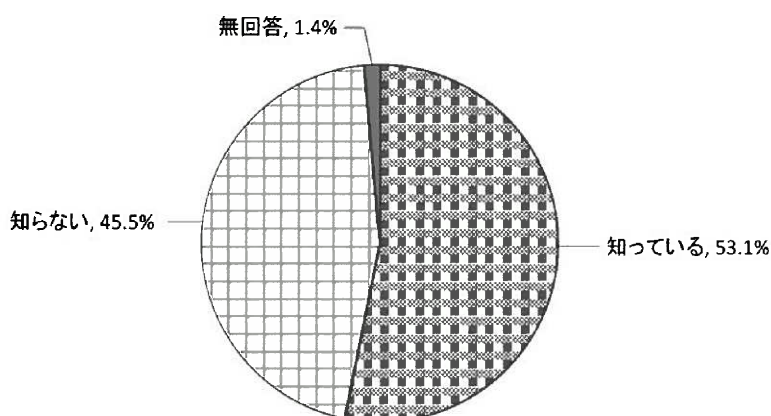
		サンプル数	日常的に感じている	よく感じる	たまに感じる	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体		143	13.3%	15.4%	42.7%	27.3%	0.7%	0.7%
性別	男性	66	15.2%	15.2%	42.4%	24.2%	1.5%	1.5%
	女性	77	11.7%	15.6%	42.9%	29.9%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	19	15.8%	5.3%	42.1%	31.6%	0.0%	5.3%
	30歳代	18	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	13.0%	26.1%	56.5%	0.0%	4.3%	0.0%
	50歳代	22	18.2%	9.1%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%
	60歳代	22	22.7%	13.6%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%
	70歳以上	38	0.0%	21.1%	42.1%	36.8%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15	0.0%	6.7%	46.7%	40.0%	6.7%	0.0%
	小倉北区	26	30.8%	23.1%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30	13.3%	10.0%	43.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	若松区	14	7.1%	28.6%	35.7%	28.6%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11	9.1%	9.1%	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	36	13.9%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	2.8%
	戸畑区	11	0.0%	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%	0.0%

日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じることはありますかについては、「日常的に感じている」、「よく感じる」、「たまに感じる」を合わせた否定的な回答が71.4%で「ほとんど感じない」(27.3%)を上回った。

【国家戦略特区について】

問3 2 北九州市は、平成28年1月に、国が地域を限って大胆な規制緩和などを実施する「国家戦略特区」に指定されました。これまでに、介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装や、シニア・ハローワークの設置など、「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をすすめています。そこで、おたずねします。

問3 2-1 あなたは、北九州市が国の「国家戦略特区」に指定されたことを知っていますか。



		サンプル数	知っている	知らない	無回答
全体		143	53.1%	45.5%	1.4%
性別	男性	66	66.7%	31.8%	1.5%
	女性	77	41.6%	57.1%	1.3%
年齢別	10歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	19	31.6%	68.4%	0.0%
	30歳代	18	55.6%	44.4%	0.0%
	40歳代	23	47.8%	47.8%	4.3%
	50歳代	22	45.5%	50.0%	4.5%
	60歳代	22	54.5%	45.5%	0.0%
	70歳以上	38	71.1%	28.9%	0.0%
区別	門司区	15	33.3%	66.7%	0.0%
	小倉北区	26	53.8%	46.2%	0.0%
	小倉南区	30	63.3%	33.3%	3.3%
	若松区	14	57.1%	42.9%	0.0%
	八幡東区	11	54.5%	36.4%	9.1%
	八幡西区	36	61.1%	38.9%	0.0%
	戸畑区	11	18.2%	81.8%	0.0%

北九州市が国の「国家戦略特区」に指定されたことを知っているかについては、「知っている」(53.1%)が「知らない」(45.5%)を上回った。

問33 最後に北九州市のまちづくりについてご意見等ございましたらご記入ください。

(回答より抜粋)

- ◆市街から引っ越してきましたが、それまでのイメージと違い、基本的には子育てがしやすい街だと感じています。交通の便の良さ、子どもの利用できる施設や自然の多さ、地域の方が子どもによく声をかけてくれるといったことが、そのように感じる主な要因です。また、これらが北九州市の魅力だと感じています。一方で、私の居住地周辺の問題かもしれませんが、道路や街中、公園にゴミが多く綺麗な街だとは評価できない、交通マナーが良くないと感じる、という点が、住み続けたいかどうかというところに影響しています。
- ◆転勤族の我が家にとって終の棲家として、安心安全できれいな環境で物価も安く、とても住みやすい街、北九州市に決めたことは間違いなかったと思っています。若松は海や山が近くにあり、高齢者にとってとても住みやすい所です。現在は若戸大橋、若戸トンネルが無料になり小倉や門司に行くのに車を利用していますが、高齢になり免許を返納した時に、バスの利用が必要となります。現在、バスの運行数が少ないので、もう少し増えたらいいなあと感じています。祭やイベントのPRが少し足りないと思います。
- ◆近年は、スペースワールドの閉業も含めて活気がなく、空き店舗も多く感じます。一方で新築マンションが増え、住みやすい街でもあるため、北九州市一丸となって新店舗(施設)の開店、継続する店舗の支援を行い、活気ある北九州市になってほしいと願います。
- ◆まちづくりの基本は「人」ですが、そのためにも人口流出を食い止めるべき「働く場所や機会」の創出も重要と思います。北九州市だけではなく、日本全国大変厳しい状況ですが、「いいな北九州市」「働きたいな北九州市」「住んでみたいな北九州市」等と言われるように市民一団で頑張れる様になりたいと思います。
- ◆市の設備、エコタウン、環境ミュージアム、ほたる館など、市民の何%が訪れたことがあるだろうか。もっとPRしてほしい。数年前、下水道の研修生の通訳をした事があります。市内の色々な場所に見学に行き、驚いた事があります。浄水場、下水処理場、若松の道路下に洪水対策として大きなパイプが数kmにわたって埋設されていること、ごみ処理場など、一般市民にPRしてください。環境の街北九州市、環境検定試験、この様な制度がある事、県外の人がどれだけ知っているのでしょうか？
- ◆20代は福岡市、30代は横浜市、40代から北九州市で生活しています。年齢が上がって北九州市はちょうどよい都市だなと感じています。福岡市は商業都市で経済が動いていると感じ、毎日生活するには息苦しくなります。但し伝統文化を観賞できる能楽堂や博多座はうらやましいですが…。北九州市は身近に山、川、海、自然環境が嬉しいです。市政としては映画誘致活動、高齢者への介護予防体操等、子育てにも力を注いでいることがわかります。国家戦略特区の指定も嬉しく期待しています。
- ◆リバーウォークやチャチャタウンなど、映画館もありますが、あまり魅力を感じません。洋服などの買い物に行くとなると、いつも福岡市まで出ています。もっと気軽に北九州市でも遊べるような場所がほしいです。北九州市はご飯のおいしいところが多く、住みやすい街でもあり大好きですが、若者にもっと魅力を感じるまちづくりを希望します。

IV 全体考察

本市では、平成20年12月に、市のまちづくりの基本指針である「元気発進！北九州」プラン(北九州市基本構想・基本計画)を策定し、ここで掲げられたまちづくりの目標を実現するために、各種の施策・事業に取り組んでいるところである。

当プランによるまちづくりの成果を、子育て、教育、福祉等の分野別に、市民の「満足感」、「実感」という観点から把握するため、「元気発進！北九州」プランに記載されている内容に沿って、33項目計49問のアンケートを実施した。

なお、経年変化を確認するため、前回(令和元年度)に実施したアンケートと同内容のアンケートとしている。

◆全体的な傾向

肯定・否定を問う質問47問中41問(87.2%)の質問で、肯定的な回答の方が多いという結果であった。

◆特に肯定的な回答が多いもの(肯定的な回答の割合が7割を超えるもの)

- 問1-1 「安心して子育てができるまちだと感じているか」
(肯定的回答72.1%、否定的回答9.1%)
- 問5-1 「医療体制の整っているまちだと感じるか」
(肯定的回答84.7%、否定的回答4.9%)
- 問7-1 「震災や風水害などの災害が発生したときのために、事前の備えをしているか。また、避難場所や避難経路を知っているか」
(肯定的回答86.1%、否定的回答9.8%)
- 問7-2 「震災や風水害などの災害が発生した時に、テレビやラジオ、携帯メール、広報車での呼びかけなど、避難に関する情報を得る方法を知っているか。また、利用したことがあるか」
(肯定的回答87.5%、否定的回答12.6%)
- 問12-3 「水道や下水道、身近な道路などの生活に不可欠な施設を、安心して利用できると感じるか」
(肯定的回答81.9%、否定的回答11.2%)
- 問22-1 「市外の方に自慢できる取組み・観光地・イベント・ゆかりの人・食べ物などがあると感じるか」
(肯定的回答72.7%、否定的回答11.2%)
- 問22-2 「新聞や雑誌、テレビなどで、北九州市の観光地や魅力を紹介する記事や番組などを、よく目にするか」
(肯定的回答88.1%、否定的回答9.1%)
- 問23-1 「北九州市が好きか」
(肯定的回答86.0%、否定的回答4.9%)
- 問23-2 「北九州市に住んで良かった、ずっと住み続けたいと思うか」
(肯定的回答81.8%、否定的回答5.6%)
- 問25-1 「車(自家用車、タクシーなど)での移動は便利であると感じるか」
(肯定的回答78.4%、否定的回答11.2%)
- 問28-1 「日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っているか」
(肯定的回答92.3%、否定的回答7.7%)
- 問30-1 「身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じるか」
(肯定的回答86.1%、否定的回答7.7%)

などについては、「感じる」もしくは「知っている」との回答が7割を超えており、市民の実感や認知度が高い分野となっている。

特に、「日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っているか」、「新聞や雑誌、テレビなどで、北九州市の観光地や魅力を紹介する記事や番組などを、よく目にするか」については、肯定的な回答が約9割を占めるなど、非常に割合が高くなっている。

◆肯定的な回答と否定的な回答が拮抗しているもの

問 3-2 「地域活動をリードする人材やボランティア活動に取り組む人材が増加していると感じるか。」

(肯定的回答30.1%、否定的回答33.6%)

問 10-2 「男女がともに社会の対等な構成員として、家庭、仕事、地域活動に参画しているまちだと感じるか」

(肯定的回答34.3%、否定的回答31.5%)

問 12-1 「市内のまち美化や、市民のモラル・マナーが向上していると感じるか」

(肯定的回答41.3%、否定的回答40.6%)

◆特に否定的な回答が多いもの

問 24-2 「黒崎副都心に、にぎわいを感じるか」

(肯定的回答6.3%、否定的回答82.5%)

問 31-1 「日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じることはあるか」

(肯定的回答27.3%、否定的回答71.4%)

今回のアンケートでは、「元気発進！北九州」プランに記載されている子育て、教育、福祉等の分野について、現時点での市民の実感を確認することができた。プランに掲げるまちづくりの目標を実現し、誰もが「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまちにするため、今後も同様の内容のアンケートを毎年実施し、その動向を確認していくとともに、プランの進捗状況把握の際の参考資料として活用し、適切な市政運営に活かしていきたい。

【市政モニターに関すること】

広報室広聴課(TEL:582-2527)

【アンケートに関すること】

企画調整局企画課(TEL:582-2158)